

演題 『咬合調整の少ない補綴と噛める補綴を目指す ～私の視点～』

講師 根× まり

抄録

昨今、様々な咬合の考え方やコースがある中、それぞれが目指す方向は、今回のテーマと変わらないと考える。その手法の違いなのか、説明や解釈の違いなのかと、問いながら、未だ、咬合は難しいと考える歯科技工士が多いのではないかと。

また、咬合器についても色々な特徴を持った物があり、性能の良い咬合器なら解決すると思いきっても結果が出ず、がっかりする事もしばしばあり、未だ咬合についての着地点が見つからず、補綴製作をしているのが現状ではないかと思う。

今回は、私の臨床経験の中で、少ない咬合調整と噛める補綴を目指すため、模型の考察から得た咬合平面の決定方法と、咬合に関するいくつかの視点を取り入れた補綴の考え方と私なりの着地点をご紹介します。

演題 『もし身近なひとががんになったら ～私たちができること～』

講師 廣畑 紀世

抄録

がんは心に大きなストレスをもたらします。「なぜ自分が」「何か悪いことをしたのか」「食生活が悪かったのか」と自分を責めて不安や落ち込む日々が続くことも。

その大きなストレスを抱えたまま治療のことや今後の生活、経済的なことを考えなくてはならない、また、心の悩みを聞いて欲しい時や自分の考えを伝えたい時はどこに声を届けたら良いのか・・・様々なことに直面します。今回の研修ではこのような疑問や不安、悩みが生じたときにどうすれば良いかお話いただきたいと思います。たくさんの方の受講をお待ちしております。